

ABS-380

サイドスリップ・ブレーキ・速度計複合試験機

分離式・一体型を実現!

一体型での設置寸法は本体幅2,840mm※、本体長1,235mm、本体厚さが薄型240mmの省スペース。※サイドカバー含むブレーキ・スピード複合テスト部とサイドスリップテスト部を分離して設置することもできます。

SST-380

サイドスリップテスト

内幅の狭い車両から広い車両まで幅広く対応。左右踏板分離式の採用により高精度な測定が可能。

サイドスリップ

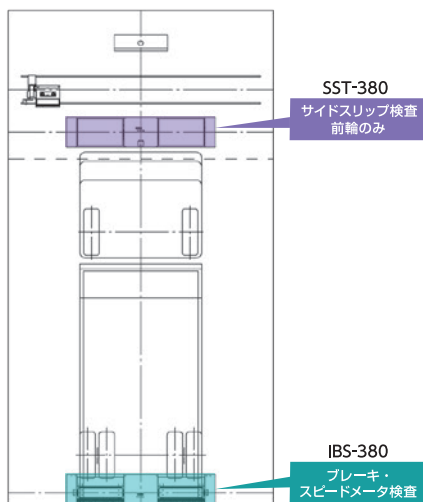
ブレーキ

スピード

Separation TYPE

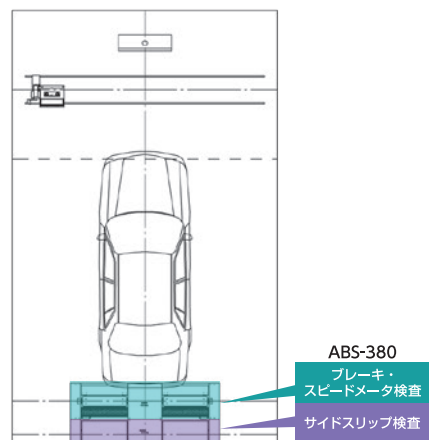
レイアウトが自由な分離設置・一体型設置例

分離レイアウト例



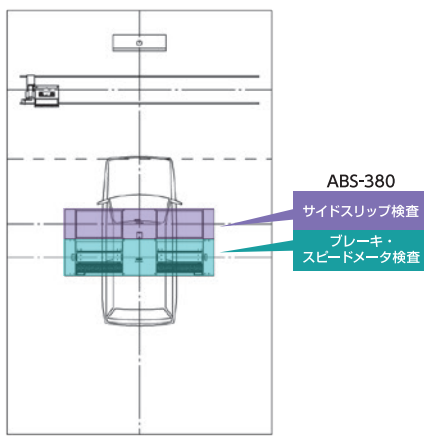
▲分離スペースのレイアウトです。

一体型レイアウト前サイドスリップ例



▲前後両輪でのサイドスリップ検査が可能なレイアウトです。

一体型レイアウト後サイドスリップ例



▲省スペースのレイアウトです。

IBS-380

ブレーキテスト

スピードメータテスト

音の静かな静音ローラ・チェーンの採用

ブレーキ測定用ローラは、定評のある静音ローラを更に進化させました。ローレット加工したローラの表面に「特殊溶射加工」を施して、高い摩擦係数と耐久性を確保しました。(実用新案登録済)

実用新案登録済

特殊溶射加工

静音ローラ

静音チェーン

さまざまな工夫で、機能をグレードアップ

ローラ上面を中間リフト上昇時FL面と同一高さに設定し、最低地上高の低い車両も安心測定。

ブレーキ駆動モータを0.75kw1基にする事により、省エネも実現。

高耐久仕様センターカバー・サイドカバー標準装備。

省電力化

オプション

モータ駆動装置対応

ローラをモータで回転させて、スピードメータを計測するモータ駆動装置の取付も可能です。(7.5 / 15 / 22kwの設定があります。)
※トヨタランナ (IE3) 基準対応



モータ駆動装置

システム接続対応

ABS-380 は弊社の検査ラインシステム「IDIS」「IDISα」および「コンサートシステム」に接続できます。この場合、液晶モニタに計測値および可否判定等が表示されます。

IDIS: 類別C5 IDISα: 類別C8



IDIS検査ラインシステム

簡易式ガイドローラ

BSテストに取付け、FF車・4WD車測定時に前輪が左右にぶらつくことを軽減させる為のガイドローラです。取付は固定レバーを下げるだけの簡単操作です。

型式:MGR-370 (IBS-380用/左右1組)



簡易式ガイドローラ

ハイグレードモデル

デジタル指示計 DM57シリーズ

サイドスリップ・ブレーキ・スピードを1台で表示

特徴 (DM38/57共通)

- 検査結果が一目瞭然!大型表示で正確性・作業効率をアップ!
- 7色のカラーLEDで使用環境に最適な配色が選択可能 (DM57のみ)
- ワイヤレスリモコンで楽々操作
- サイドスリップ、ブレーキ、スピードの切り替えもワイヤレスリモコンでワンタッチ

ワイヤレスリモコン (標準付属品)

操作を運転席から降りることなく効率的に行えます。

- 中間リフト：上昇・下降操作
- サイドスリップ・ブレーキ・スピードテストの表示の切替
- 電源ON・OFF
- ストラップ付き



オプション

ブザーランプユニット
商品型式: IBS-OP13A

サイドスリップ・スピードテストの判定を光と音でお知らせします。



表示項目

サイドスリップ

- IN、OUTのリアルタイム値
- ピーク値のホールド



ブレーキ

- 制動力のリアルタイム値
- ピーク値のホールド
- 左右輪の和および差



スピード

- 速度のリアルタイム値
- 速度のホールド値
- 基準速度 (40km/h) との差



ベーシックモデル

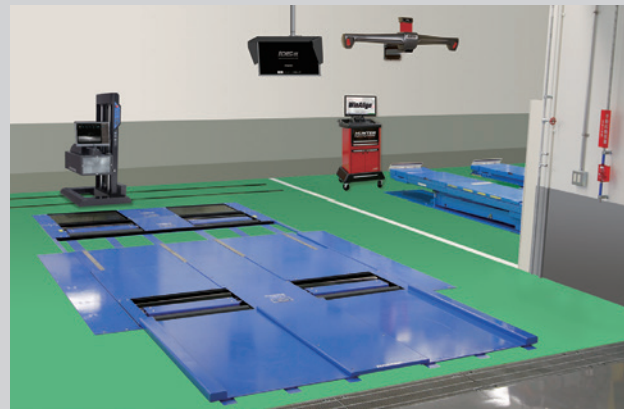
DM38シリーズ



ABSテストと移動装置の組合せ設置を実現。 4WD車も車両移動なくラクラク測定。

ツインコンビネーションテスト

ブレーキ・速度計試験機のツイン設置



▲ABS-380 + IBS-380の移動装置設置例 (IDISα)

ABS-380はブレーキ・速度計試験機 (IBS-380) を増設設置することで4輪駆動車の測定時、車両を移動することなく計測ができます。フリーローラを設置する必要がなく、設置スペースも小さくすることができます。確実・簡単に高い精度で効率のよい作業を実現します。

ホイールベースの設定



最少1,800mm 最大移動値1,500mm
最大3,300mm

ホイールベース移動範囲…1,500mm。

最小1,800mm ~ 最大3,300mm。

- 前側テストを固定し、後側テストをリモートスイッチにより、ホイールベースに応じて自在に設定が可能です。
- ホイールベースは最小1,800mm~最大3,300mmに対応できます。

ツイン設置レイアウト例

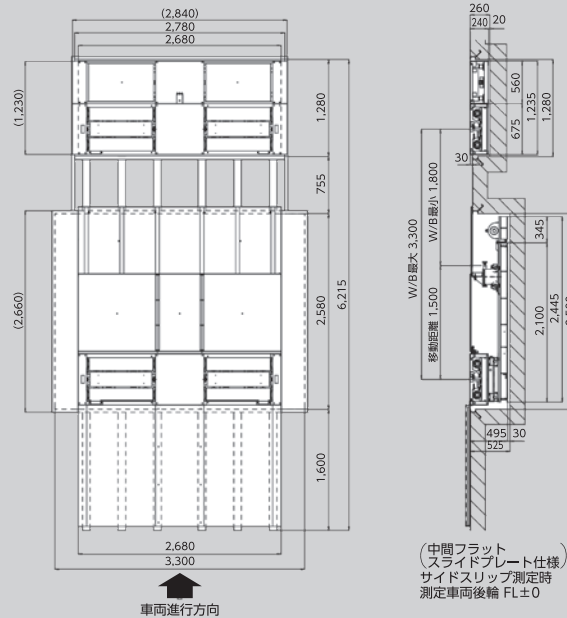
- サイドスリップテスト以外は車両を移動させる必要がありません。※1
- サイドスリップテスト時の後輪設置面フラット化を実現。
- 狭いスペースでのレイアウトが可能です。
- ヘッドライトテスト※2、後輪用ブレーキ・速度計試験機が前後移動します。

※1 テスタ上でライト計測をする場合は運転支局、整備振興会への確認が必要となりますのでご相談ください。

※2 ヘッドライトテストは前後移動装置のオプション追加が必要です。

■ツインコンビネーションテスト 全体図

〈標準配置例 (W/B 1,800~3,300mm)〉



〈スライドプレート短縮配置例 (W/B 1,800~3,300mm)〉

